

「簡易な施工計画」作成の注意点

総務省が進める「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化」により、徳島県電子入札システムでは、平成29年7月1日より一太郎ファイルの取扱いができなくなりました。

このため、総合評価（簡易な施工計画）申請書（様式2）の標準様式をワードファイルに変更しています。

平成29年7月1日以降に簡易な施工計画を「一太郎」で作成して申請する場合は、**PDF形式に変換**して申請してください。

なお、簡易な施工計画をワードファイルで作成した場合も、なるべく**PDF形式にて提出**するようにしてください。

共同企業体名：_____

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R4徳土 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事（担い手確保型）

評価項目	「品質・施工の確認方法、管理方法」の適切性
具 体 的 な 施 工 計 画	
<p>この工事は、末広大橋南主塔にあるケーブル4本のケーブルカバーを撤去し、ケーブル素線詳細調査を行った後、防食テープ巻工法によりケーブルの被覆を行う橋梁修繕工事である。</p> <p>ケーブルカバー撤去後、詳細調査を行う期間、ケーブルにカバーの無い状態となるため、素線への水分の侵入を抑制する対策が必要である。</p> <p>また、防食テープ巻工の素地調整では、ケーブル表面の浮き錆、ホコリ等の除去が重要であり、下塗り剤塗布の際には、ケーブル表面への均一な塗布、素線間の溝への充填も重要である。</p> <p>さらに、防食テープを巻く際には、防食テープのラップ面積の確保、防食テープとケーブルの密着、防食テープ継ぎ目が生じる場合の継ぎ目処理も重要である。</p> <p>これらのことを踏まえて、次の全ての事項について具体的に記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none">① ケーブルカバー撤去後、ケーブル素線への水分の侵入を抑制する具体的方策と実施方法② 素地調整や下塗り剤塗布において、品質を確保するための具体的方策と実施方法③ 防食テープを巻く際の施工精度を確保するための具体的方策と実施方法	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

共同企業体名：_____

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R4徳土 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事（担い手確保型）

評価項目	「品質・施工の確認方法，管理方法」の適切性
------	-----------------------

具体的な施工計画

① ケーブルカバー撤去後，ケーブル素線への水分の侵入を抑制する具体的方策と実施方法

② 素地調整や下塗り剤塗布において，品質を確保するための具体的方策と実施方法

③ 防食テープを巻く際の施工精度を確保するための具体的方策と実施方法

※A4版1枚（1ページ）に記入し，記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

共同企業体名：_____

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R4徳土 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事（担い手確保型）

評価項目	「施工上配慮すべき事項」の適切性
具体的な施工計画	
<p>この工事は、末広大橋南主塔にあるケーブル4本のケーブルカバーを撤去し、防食テープ巻工法によりケーブルの被覆を行う橋梁修繕工事である。</p> <p>当工事は、供用中の道路で通行を規制し、実施することとしているが、当路線の交通量は1日当たり約3万台と非常に多いことから通行規制により混雑が予想され、朝夕の通勤ラッシュ時など、特に交通量の多い時間帯は深刻な渋滞が懸念される。</p> <p>また、高所作業車を使用する作業が多く、現道交通や河川への落下防止対策が必要であるとともに、当該工事箇所は、新町川水面から最大で約2.2mの高さとなることから、作業中は風の影響を受けるため、この影響を考慮した安全確保が求められる。</p> <p>さらに、建設産業の担い手育成の観点から、この工事の施工においては、県民の建設産業への関心を深めるための取組（例：実際の施工現場を活用した見学会等）を実施することとしており、そのためには、取り組みの提案や実施する際の関係機関との事前調整、安全確保等が求められる。</p> <p>これらのことを踏まえて、次の全ての事項について具体的に記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none">① 周辺交通への影響を低減させるための配慮すべき事項② 高所作業での落下防止対策や風の影響を考慮した施工の安全確保に関する事項③ 建設産業への関心を深める取組と実施に当たっての事前調整等に関する事項 <p>※③の有効な取組については、その費用を変更契約の対象とする（入札額には含めないこと）。</p> <p>※③の申請について、受注後、関係機関等との事前調整の結果、実施ができないと判断できる場合は、受注者は「同等又は同等以上」の履行義務を負わない。</p>	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

共同企業体名：

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R4徳土 徳島環状線 徳・昭和 橋梁修繕工事（担い手確保型）

評価項目	「施工上配慮すべき事項」の適切性
------	------------------

具体的な施工計画

- ① 周辺交通への影響を低減させるための配慮すべき事項
- ② 高所作業での落下防止対策や風の影響を考慮した施工の安全確保に関する事項
- ③ 建設産業への関心を深める取組と実施に当たっての事前調整等に関する事項

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

＜記述上の留意点＞

共同企業体名： _____

簡 易 な 施 工 計 画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名： **ROO OOOOO工事** ←※工事名が間違っていないか確認を！

評 価 項 目	「施工上配慮すべき事項」の適切性
---------	------------------

具 体 的 な 施 工 計 画

OOということ（工事特性）に鑑み、OOする観点から、次の事項について記述すること。

- ① OO・・・
- ② △△・・・
- ③ ■■・・・
- ④ ××・・・

※①の項目についての記述に対して、②の項目で評価することはないので、テーマに沿った記述になっているのか、再確認を！

特に具体的な施工計画（「工程管理」の適切性に係る（補足：工程表）を除く。）を記述する枠（以下「記述枠」という。）内の文字の大きさの規格は10.5ポイント以上とする。

なお、「記述枠」の規格値は縦21.0cm、横17.0cm以内とし、55行以内で規格値以内の「記述枠」内にアンダーラインを使用しないで記述することとし、アンダーラインを使用して記述した箇所については、評価の対象としないので注意すること。

また、執行機関での印刷結果において、以下の項目に一つでも該当する場合は、「記述枠」内の全ての記述を評価の対象外とする。

- ① 文字の大きさが明らかに10.5ポイントを下回る場合
- ② 「記述枠」が縦・横いずれか一方でも規格値から5mmを超えて大きい場合
- ③ 「記述枠」内に56行以上の記述がある場合
- ④ A4版でない場合
- ⑤ 指定の枚数を超えて記述している場合

注1：手書きの場合も同様とする。

注2：文字のうち、写真・図・表等（以下「図表等」という。）の表題、図表等と一体とみなすことができる名称等、また、英数字・単位・記号・カタカナ等は上記①の対象外とする。

注3：「記述枠」内に県が記載している文章については、テーマ番号以外は削除しても良いが、記載が残っている場合は、行数に含める。

注4：空白行は、行数に含めない。

注5：写真・図は行数に含めないが、表中の行は行数に含める。

＜記述枠：縦21cm×横17cm以内に制限＞

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。